

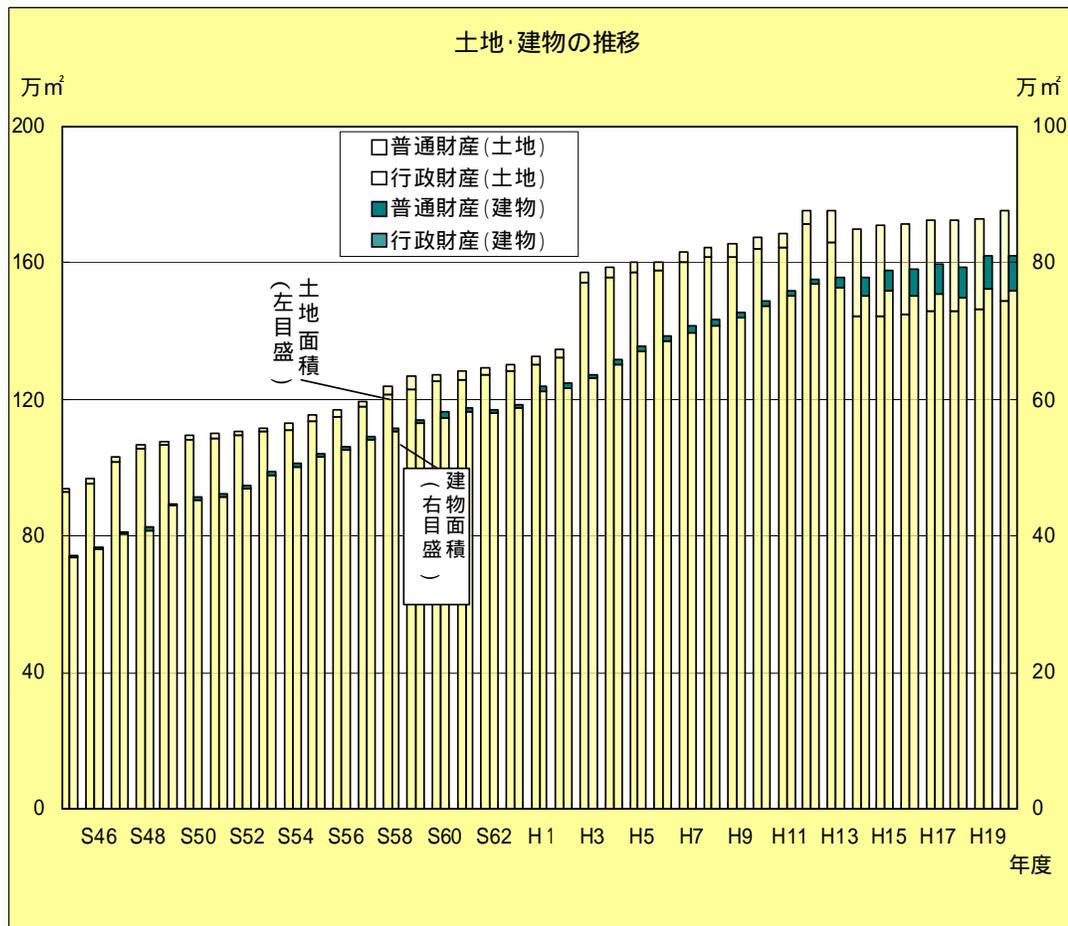
施設

概要版

白書

2010

平成 22年 4月 杉並区



SUGINAMI CITY



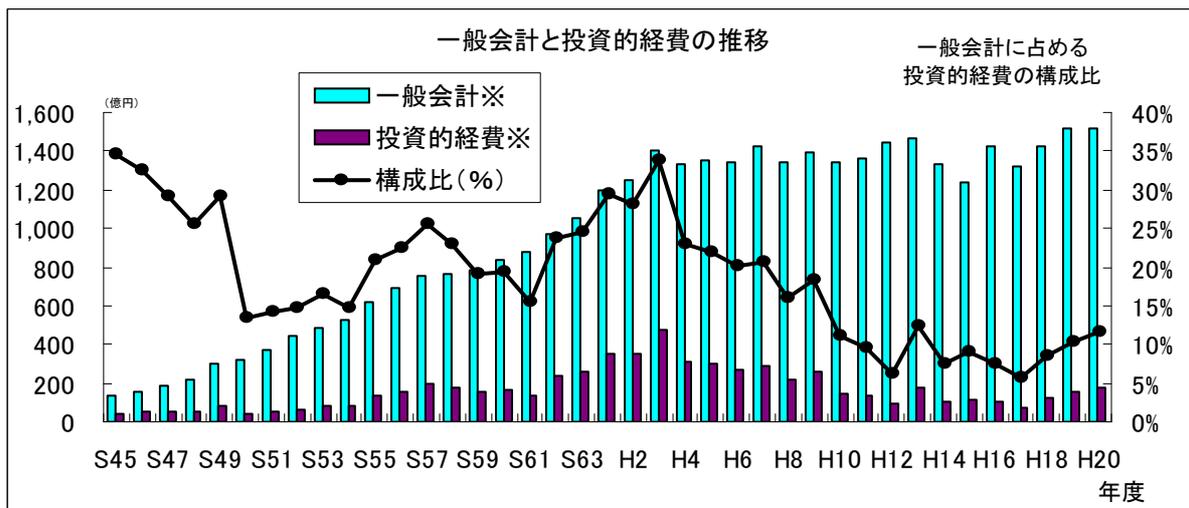
歩きながら、元気と文化が、すぎなみ
生まれる街。



1. 施設整備の推移と現状

- 1 区では、基本構想に基づき計画的に施設を整備してきました。
- 2 平成 20 年度末で土地約 175 万㎡、建物約 81 万㎡を保有しています。
- 3 建物の建設などに使う投資的経費は、一般会計の約 11.7%です。
- 4 保育園、児童館の利用者は増加しています。
- 5 小・中学校の児童生徒数は、ピーク時の半分以下になっています。

■ 一般会計と投資的経費の推移

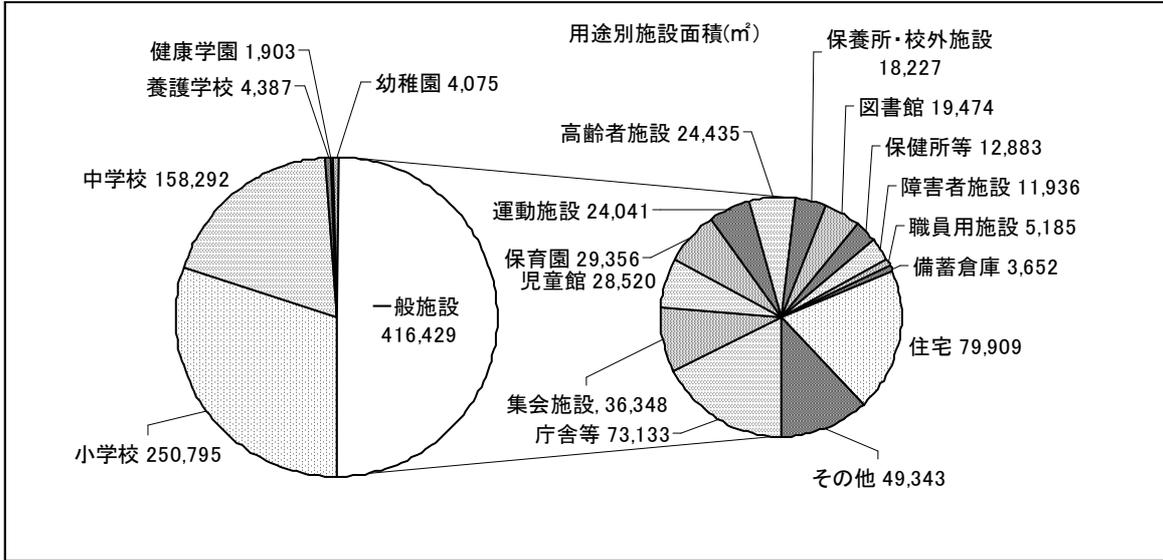


■ 主な施設の状況

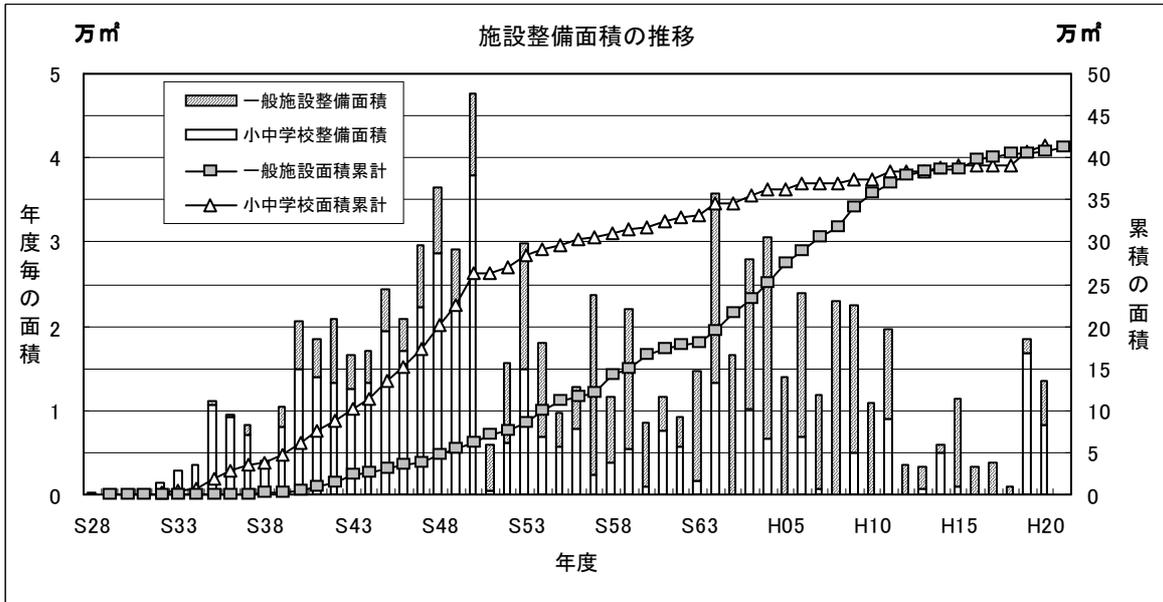
施設名	施設数	総延べ床面積 (㎡)	平均床面積 (㎡)	備考
保育園	47	28,580	608	
児童館	41	25,253	615	児童青少年センター除く。
小学校	43	250,795	5,832	
中学校	23	158,292	6,882	
ゆうゆう館	32	7,862	246	
図書館	12	15,056	1,255	中央図書館除く。
地域区民センター	7	25,558	3,651	
座・高円寺	1	4,877		

■ 用途別施設面積

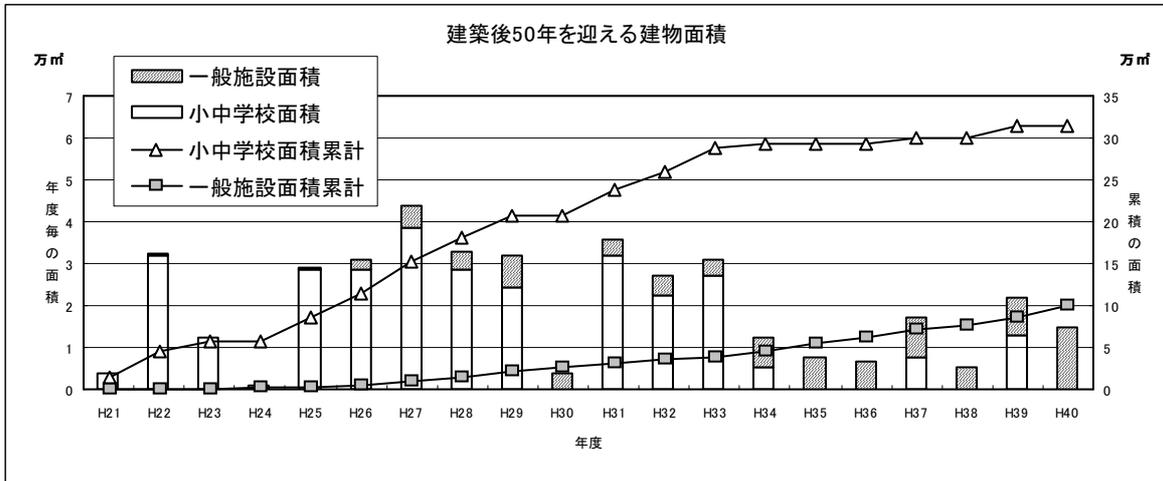
● 区の施設（借上げ含む）のうち、約半分が一般施設、残りの半分が学校施設です。



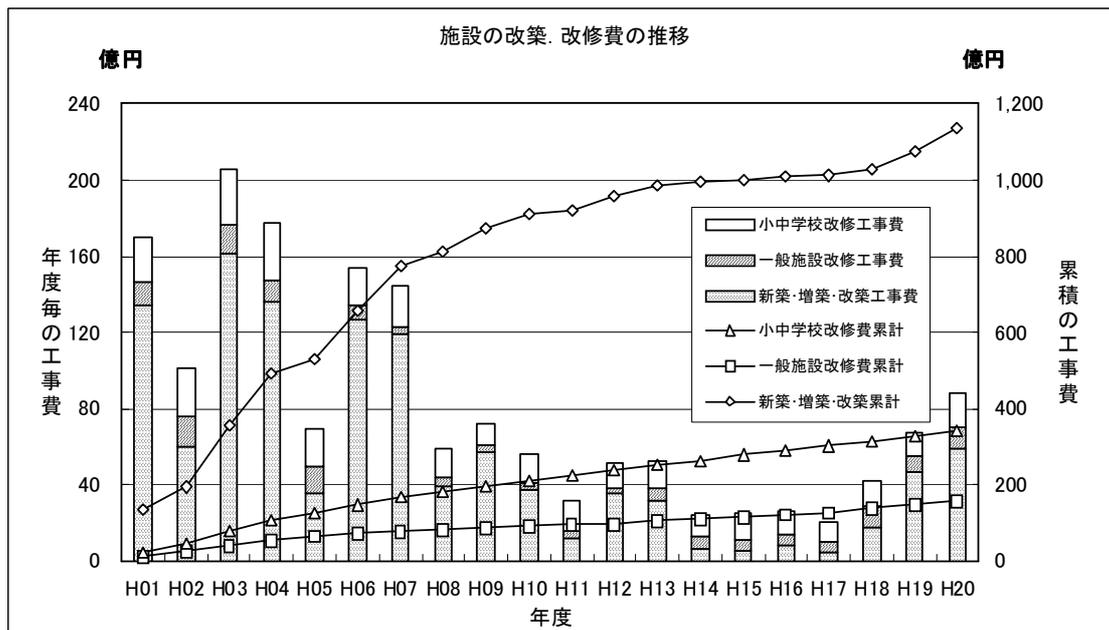
■ 年次別整備状況



■ 建築後50年を迎える建物面積状況



■ 改築・改修費の推移状況



■ 主な施設整備過去3年間の推移

建設費は平成21年4月1日現在 面積単位 (㎡)

	名称	敷地面積	延床面積	建設費 (千円)	竣工 (年月)
1	図書館 今川図書館併設ゆうゆう館	1,569	1,489	429,350	平成19年8月
2	住宅 本天沼二丁目第三アパート併設認知症グループホーム	1,282	1,251	281,558	平成19年9月
3	文化施設 座・高円寺	1,649	4,977	2,753,130	平成20年11月
4	保育園 高円寺南保育園外1施設改築及び防災関連施設	1,093	2,455	789,902	平成21年1月
5	学校 荻窪小学校	11,022	8,290	2,310,070	平成21年3月
6	駐車場 東高円寺自転車駐車場	600	840	164,378	平成21年3月

■ 施設の改築・改修経費過去3年間の経費

(千円)

年度	新築・増築・改築工事費	一般施設改修工事費	小中学校改修工事費	工事費合計
H18	1,727,122	1,193,074	1,276,467	4,196,663
H19	4,703,869	809,337	1,244,070	6,757,276
H20	5,915,375	1,130,788	1,727,125	8,773,288
合計	12,346,366	3,133,199	4,247,662	19,727,227

2. 施設コスト

1

区施設全体の光熱水費は、平成13年10月にISO14001の認証を取得し、取組を進めたことにより減少した後、横ばいの傾向にあります。

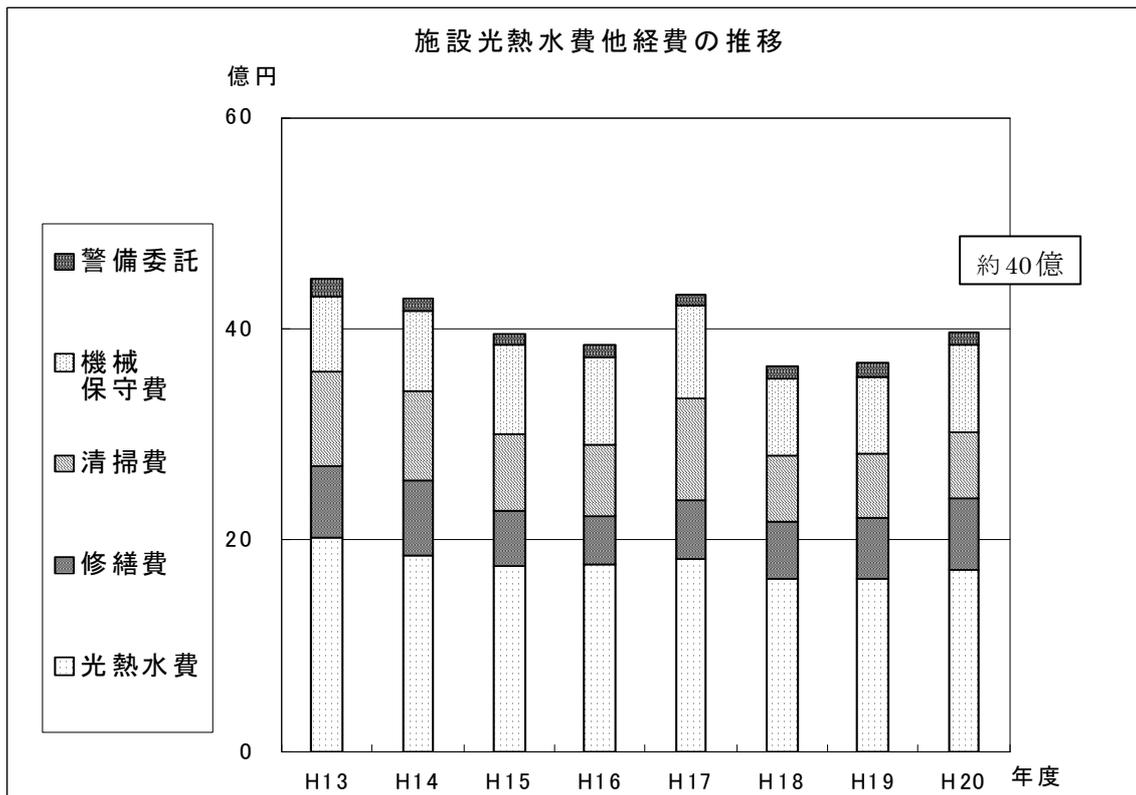
2

清掃費や機械保守費などの委託費は、標準仕様書の作成等により削減に努めています。

※用語の定義

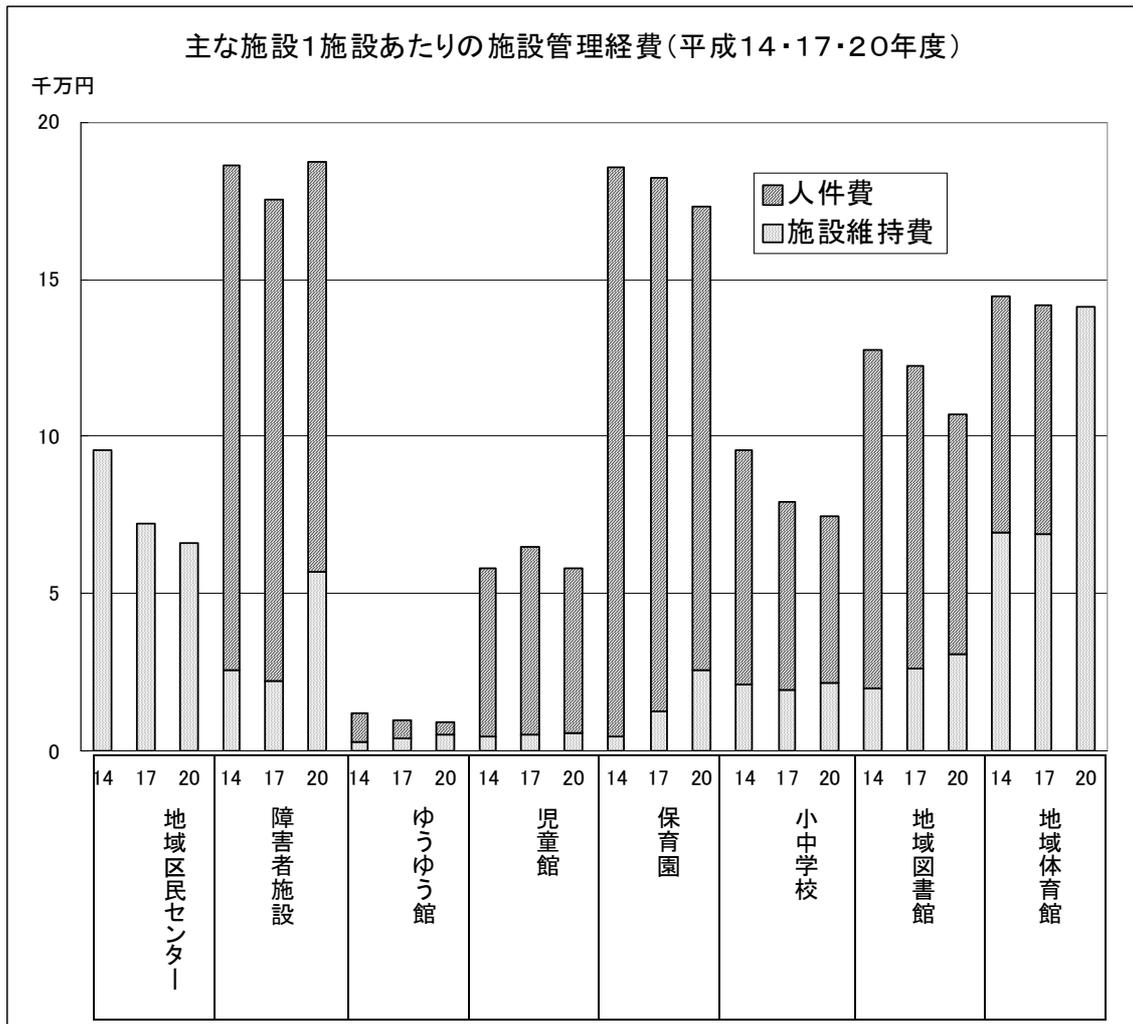
●「施設維持費（光熱水費他経費＋その他委託料）」と「人件費」を加えたものを「施設管理経費」とします。

■ 施設光熱水費他経費の推移



- 修繕費は、施設の開設年次や目的により年度間に大きなばらつきが生じています。

■ 主な施設の施設管理経費



グラフ注

- ※ 施設維持費は、光熱水費、修繕費、清掃費、機械保守費、警備委託費及びその他委託料とした。
- ※ 人件費は、その施設に従事している区の職員の平均賃金で算出した。



● 荻窪小学校 (平成 21 年 3 月竣工)



● 座・高円寺 (平成 20 年 11 月竣工)

■ 平成 19 年度からの主な施設の取組み

- 保育園は、経済状況の不安定な中、保育を必要とする子供が増加しており、就労形態の多様化などにより保護者の求める保育ニーズも多種多様化しています。こうした中、待機児童解消のため認証保育所や区保育室の設置を進めるとともに、0 歳児保育実施園、延長保育実施園等を増加させるなど、対応してきています。

また、民間の力を活用した公設民営化を進め平成 21 年 4 月に竣工した、高円寺南保育園に指定管理者制度を導入し、現在 4 園を公設民営で運営しています。



高円寺南保育園 平成 21 年 1 月竣工
(ゆうゆう館併設)



西荻窪保育施設 平成 21 年 8 月竣工
(認証保育所)

- ゆうゆう館は、平成 19 年 12 月「ゆうゆう今川館」を、平成 21 年 3 月「ゆうゆう高円寺南館」を改築開館しました。いずれも、「新たな敬老会館のあり方方針」に基づき、浴室・茶室・和室は設置せず、それに代わる機能として、「団体交流スペース」(今川館)、「異世代交流スペース」(高円寺南館)を設置しています。また、既施設では、生活様式の変化などにより利用率が低下している和室を洋室化する改修を順次実施するとともに、入浴事業終了後の浴室・脱衣室について、小集会室スペースへの転用など、有効活用に向けた改修を実施しています。

- 図書館は、平成 19 年度に、成田図書館と阿佐谷図書館に指定管理者制度を導入し、南荻窪図書館を業務委託により運営しています。

なお、平成 19 年度に竣工した今川図書館は「ゆうゆう館」との併設で、「生涯現役」をテーマとしたモデル館として設計・建設し、運営にあたっては図書館とゆうゆう館を一体的に業務委託しています。



今川図書館 平成 19 年 8 月竣工
(ゆうゆう今川館併設)

- 小中学校は、児童・生徒数が減少している中で、集団教育の場としての望ましい教育環境を確保するため、杉並第五小学校と若杉小学校を統合し、区内初の統合新校となる天沼小学校を旧若杉小学校の校舎を使って平成20年4月に開校しました。現在、新校舎を旧杉並第五小学校の校地で建設しています。

学校施設の耐震化については、「杉並区耐震改修促進計画」（平成20年3月策定）に基づき、児童・生徒の安全を最優先に、平成24年度の耐震化100%達成に向けて計画的に取り組んでいます。また、「まるごとエコスクール」として荻窪小学校の移転改築（平成21年3月）を行いました。



天沼小学校 平成22年12月竣工予定



松溪中学校（耐震改築）平成22年7月竣工予定

- 座・高円寺は、平成20年度に竣工しました。この施設は演劇や舞踊などの優れた舞台芸術を区民に提供するとともに、様々な文化・芸術活動の実施、練習及び発表の場として、また、阿波おどりの振興の拠点として、地域の個性と結びついた文化の創造と発信など、芸術文化の振興を担っていく施設です。

- 「幻戯山房～すぎなみ詩歌館」（角川庭園内施設改修）

寄贈を受けた旧角川邸を、平成20年度に俳句などを詠む人々が集う場や、お茶会などができる施設として整備し、四季折々の草木を楽しみながら散歩できる公園「角川庭園」と併せて整備しました。



- 本庁舎南側に省エネ・省資源・緑化対策のシンボルとして「緑のカーテン」を設置しました。



3. 施設の改築・改修経費

- 1 平成 22 年ごろから、建築後 50 年の耐用年数を迎える施設が増えてきます。
- 2 小中学校の耐震改修工事は、改築対象になったもの以外は平成 24 年度に完了する予定です。
- 3 小中学校の改築経費を想定すると、平成 21 年度からの 10 年間に毎年平均で約 15 億円、平成 31 年からは毎年約 60～75 億円かかります。
- 4 学校を含めた全施設の改修経費は、平成 21 年度からの 30 年間に毎年平均で 30～40 億円かかります。

※ 改築経費算定では、区の全施設582は廃止せず存続すると仮定したうえで、施設規模が大きく、経費の算定に大きく影響する小中学校、延床面積2,000㎡を超える一般施設、中規模施設として数が多い保育園・児童館・ゆうゆう館（敬老会館）、産業商工会館、図書館、区営住宅等を算定対象施設とします。

■ 改築・改修経費の推計

- 今後30年間の改築・改修経費の推計は次のとおりですが、全体で約2,766億2,000万円の経費がかかります。

全体改築・改修経費（平成21年～50年度 30年間）

項 目	概算費用
改築費	1,842億円
改修費	924億2,000万円
合 計	2,766億2,000万円

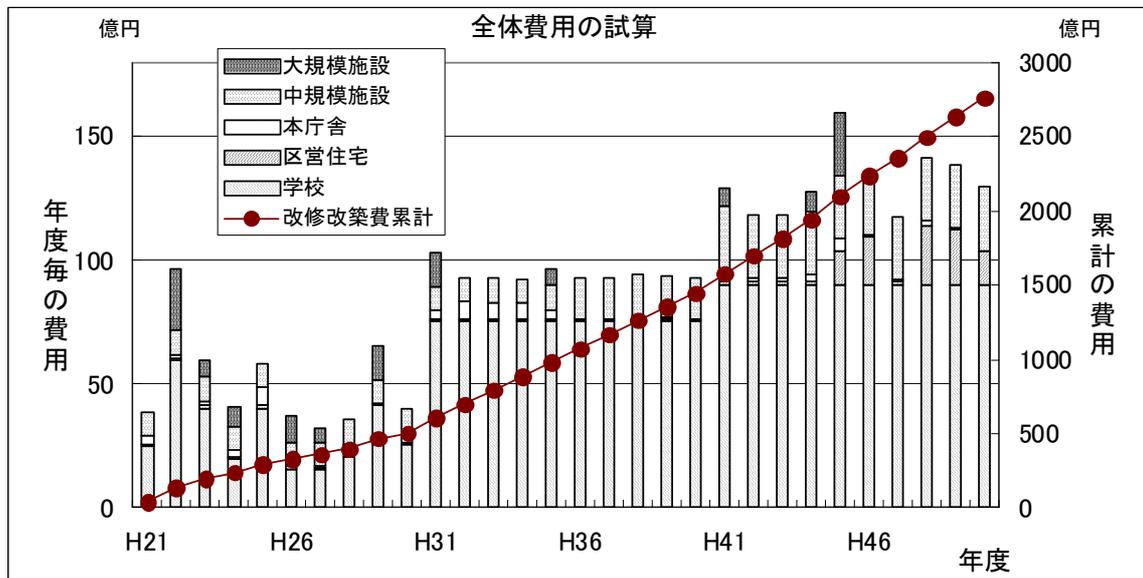
施設別経費（平成21年～50年度 30年間）

施設	改築概算費用	改修概算費用	合 計
本庁舎	—	78億円	78億円
大規模施設	61億1,100万円	69億5,000万円	130億6,100万円
中規模施設	192億6,400万円	288億円	480億6,400万円
区営住宅	88億2,500万円	26億7,000万円	114億9,500万円
小中学校	1,500億円	462億円	1,962億円
計	1,842億円	924億2,000万円	2,766億2,000万円

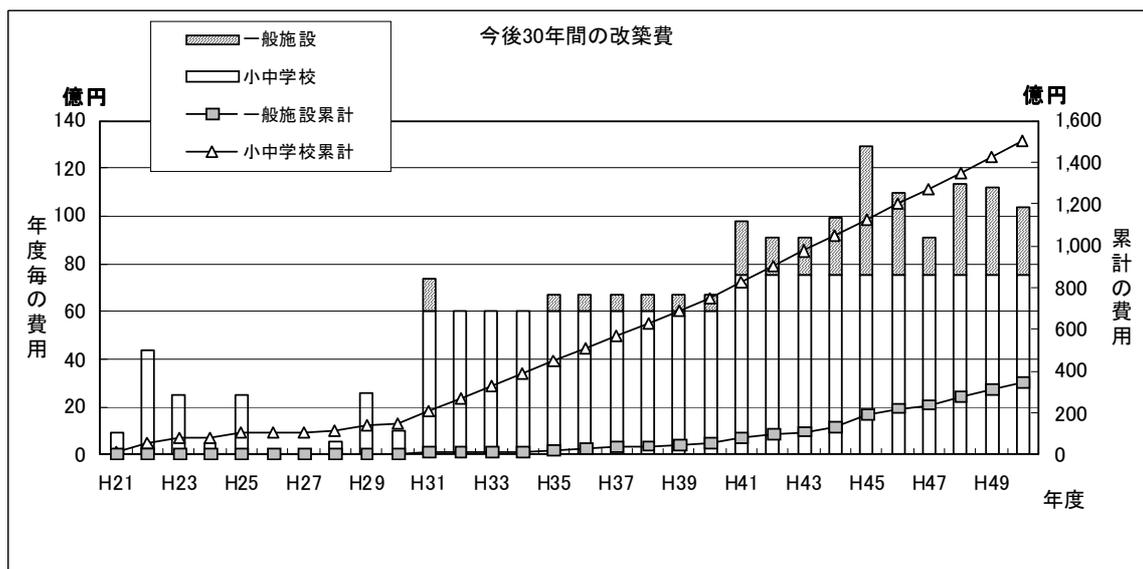
内訳

計 画	前期計画	中期計画	後期計画	計
期 間	平成21～30年度 10年間	平成31～40年度 10年間	平成41～50年度 10年間	平成21～50年度 30年間
改築施設数	5	41	115	161
改 築 費 用	150億円	655億3,600万円	1,036億6,400万円	1,842億円
改 修 費	355億700万円	289億4,700万円	279億6,600万円	924億2,000万円
改築・改修計	505億700万円	944億8,300万円	1,316億3,000万円	2766億2,000万円

■ 全体費用の試算状況

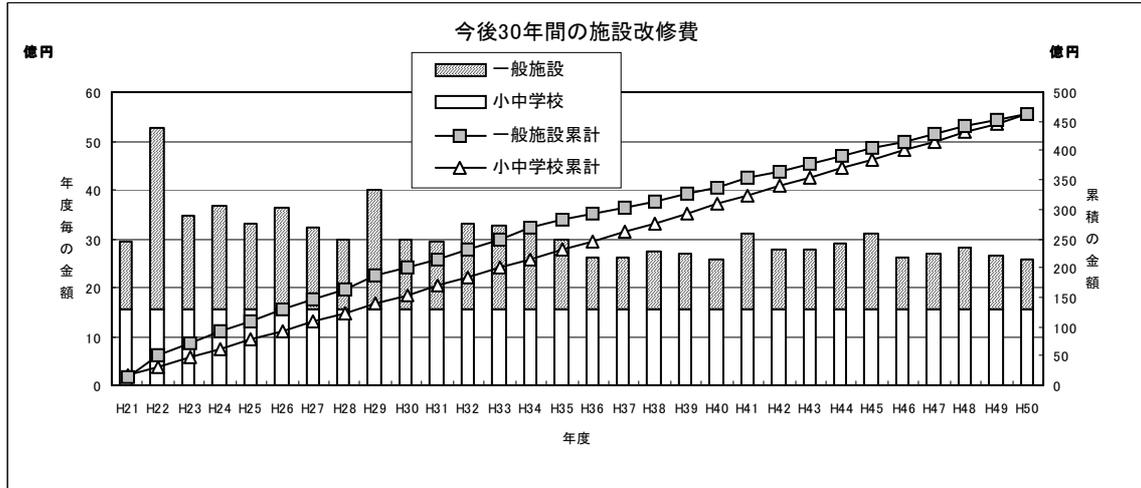


■ 今後30年間の改築費状況



※ 経費の算定にあたっては、平成50年までの30年間で改築期（築50～65年）を迎える主要な区施設の改築・改修の概算経費を算定しました。

■ 今後30年間の改修費状況



■ 改築時期平準化による経費比較

- 前回と今回の施設白書で推計した改築改修経費を比較しました。前回の施設白書と改築改修経費の算定期間や施設規模に違いがありますが、毎年の負担を軽減するため、修繕計画期間を長期間的になるよう、20年から30年と見直し、建築物の耐用年数を50年から65年へと変更することで、改築改修経費がゆるやかに上昇しています。

● 算定条件比較

	前 回	今 回
期間	20年間	30年間
改築規模	既存面積(各施設の現有面積) (※学校の場合は、平均 5,600 m ²)	現在の改築規模面積 (※学校改築平均延べ 8,500 m ²)
改築改修経費	都予算単価※1	施工実績単価※2
改築時期	築 50年	築 50年～65年

※1 予算単価一都が定める標準建設予算単価。

※2 施工実績単価一最近の改築施工実績単価

(円)

